

設立15周年特大号

チロリ通信 Vol.17 (2020春)

発行元：NPO しずおかセラピードッグ サポートクラブ

〒410-0036 沼津市平町 24-4-902

TEL 055-962-3190 FAX 055-960-9720

http://npo-stds.com/



1. NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ設立15周年!

NPOしずおかセラピードッグサポートクラブは2004年12月に発足し、活動は15年になります。きっかけは、ブルースシンガーとして著名な(一財)国際セラピードッグ協会の大木トオル代表が、セラピードッグを連れて「ぬまづサマーガーデン」のメインアーティストとして沼津に来られたことです。その際に、捨て犬を保護してセラピードッグに育成している大木トオル代表の活動に賛同し「静岡県東部での活動をサポートするNPOを立ち上げよう!」ということとなり、このNPOを有志で設立しました。(初代会長 加藤元章)



2004.夏 沼津仲見世商店街での大木代表と名犬チロリのサイン会

「セラピードッグ」の活躍

国際セラピードッグ協会では動物介在療法と呼ばれ、老人介護施設へ定期的に訪問し、セラピードッグがお年寄りの皆さんと触れ合いながら、辛く大変なリハビリ活動を一緒になって行い、体の機能回復をサポートする療法であり、欧米の医学界では長い歴史があります。

例えば、歩行が困難だった方が犬と一緒に歩きたいという気持ちから徐々に歩くことができるようになったり、リウマチの障がいを持つ方の手はセラピードッグに触れたいと思うことで動かせるようになったり、また、認知症の方は症状の進行が緩和されるなど、多くの症例が出ています。

このセラピードッグたちは約2年のトレーニングを経て1人前となります。盲導犬などは優秀な血筋で適性のある選ばれた犬を訓練して育成するのですが、セラピードッグたちは、人間に捨てられた犬、すなわち保健所で殺処分寸前だった犬を引き出して育成しています。この点に私たちは深い意義を感じています。2011年以降は、東日本大震災で被災した犬たちの保護も行っています。



NPOしずおかセラピードッグサポートクラブの活動内容

私たちは、国際セラピードッグ協会の活動をサポートするために立ち上がりました。まず、命の大切さを伝えること。色々なイベントに参加して活動内容のパネル展示、国際セラピードッグ協会の本やグッズ販売、募金を募るなどしています。

更に、国際セラピードッグ協会のセラピードッグたちを招聘して、県東部の老人福祉施設への訪問活動を行っています。

一方で、実際に活動をしていると、捨て犬の通報や、事情により犬を飼えなくなったので引き取ってもらえないか、などという相談が数多くクラブに届くようになり、その都度、新たな飼い主を探すことに奔走してきました。また、保健所に保護された犬については、現在は保健所と連携し、殺処分されてしまう運命の犬を登録ボランティア団体が保健所から引き出すことが出来る様になりましたが、以前は成犬は飼い主以外には保健所から引き出せず、そのまま殺処分される犬が数多くいました。このような状況に対し、クラブでも出来ることはしよう、ということになり、メンバーが一時預かりをして時間を稼ぎ、ホームページやチラシで新たな飼い主募集を呼びかけるなど、1頭ずつ、根気よく活動をして、結果的にこの15年間でたくさんの不幸な犬の命を救うことが出来ています。

最近では、ボランティア間の連携もでき、他クラブ主催の大猫譲渡会と一緒に参加しています。私たちの活動は地道なのですが、殺処分ゼロを目指して、これからも活動していきたいと思っています。(加藤 佳子)



幸せになったワンコたち(抜粋)



2.2019年度活動報告

①神奈川県動物愛護センター視察(2019.8.30)

令和元年6月に新装オープンした神奈川県動物愛護センターの視察に行きました。職員の方から保護した犬達を飼い主が迎えに来るまでと思い愛情をかけて世話をしても、保護しておける期限が来てしまい、殺処分しなければならない、冷たいガス室で苦しみ悶え叫びながら死んでいくのを助けてあげられなかった10年間の自分達の無念さから、あちこちに働きかけて「動物を処分するための施設」から「生かすための施設」に生まれ変わることができました、とお聞きして感動しました。最新の医療設備で保護動物の治療を施し、放棄されて人間不信になった動物に愛情をかけて躰を行い、広々したふれあいルームで一緒に遊んで譲渡に繋げています。空調も完備された明るく清潔な犬猫の個室がずらりと並び、中からも外のバルコニーからも眺めることができます。細部にまで行き届いた施設内容は、職員の皆さんの思いと経験が反映された素晴らしいものでした。是非、静岡県にも東部地域にもっと素敵な愛護センターを作っていただきたいと強く思いました。(福田洋枝)



②セラピードッグ写真展(2019.9.3~9.16 Café&Gallery 珈舎に7)

(感想ノートより抜粋)「救える命がある、助かる命の為に活動しているサポートクラブ様に敬意を称します。決してやさしい活動ではないと思います。どうか、一命でも助かる命がありますように私も活動していけたらと思っています。」「美味しいミルクケーキと素敵な写真、心地良い空間に癒されました。命あるもの全て、幸せでいれるようお願い自分にできる事をやっています。」「場所を提供して下さいました珈舎さんに心より感謝致します！」



③特別養護老人ホーム南陽光園訪問(2019.10.14)

陽光園の建物は素晴らしく、中に入ってみると、アットホームでもとても居心地が良くまるで家庭に居る感じでした。セラピードッグたちはとても静かで、大人しく可愛く、お利口で、自分達の番までじっと待っている姿が印象的でした。お年寄りの皆さんは自分の想いをセラピードッグに話しかけてみたり、体を撫でてみたり、まるで我が子のように触れ合っていました。私達も、皆さんのたくさんの笑顔を見て、少しの時間でもセラピードッグ達と活動する事の大切さを教えて頂きました。入居者の方々からありがとうと言われた事は私は、とても嬉しかったです。セラピー犬と入居者さんの絆を、深めさせて頂けたと思います。セラピードッグの大切さ、入居者さんの暖かさ、優しさを教えて頂いた1日でした。(鈴木智美)



【(一財)国際セラピードッグ協会のセラピードッグ活動】

④松子ちゃん、虹の橋を渡りました(2017.12 沼津保健所から引き出し、2019.7.28 永眠)

沼津の松沢町で保護されたので「松子」と名付け、私が初めて預かりをしました。多少認知症もあり、家の中でぐるぐる回り続けて居ました。車に乗る時はギャン泣きで、狭い場所に入ってもギャン泣きするので、そんな時は抱っこして愛撫してあげました。多少大変でしたが可愛い松子ちゃんでした。松子ちゃんの写真を見て居ると今でも涙が出ます。(預かり 川口晴美)

認知症の高齢犬松子ちゃんに里親は見つからず、看取りも考え私も時々預かりをしました。お散歩が大好きで沢山歩きました。目があまり見えないのにマンホールの蓋をピョンと飛び越えたり、フードもガツガツ食べて、とても元気でしたが、夏になったら急激に食べられなくなり、最後は会長ご夫妻に看取られて、幸せワゴンになれたかなと思います。(預かり 福田洋枝)

パワフルなおばあちゃんワンコで、その愛くるしい姿はたくさんの方に愛されました。フィラリア治療、晩年は重度の腎不全治療にがんばっていた松子でした。新たな里親とご縁は繋ぐことはできませんでしたが、優しい預かりメンバーの川口さん、福田さんの元、楽しい日々を過ごした松子。最期の一ヶ月は私の自宅で介護をし、松子の最期をしっかりと看取ることができました。松子、ありがとう！ゆっくり休んでね。もう二度と、犬を棄てないで。犬は私達のかげがえのない友達です！(預かり 笠井清美)



3.2019年度捨て犬・命のレスキュー記録! 幸せになったワンコたち



①レイちゃん(預かり名: レディちゃん)

レディちゃんは、私の預かり6頭目で始めて迎えたお耳の垂れたワンコさんでした。保健所の保護期限が過ぎても飼い主が現れず、引き出しに東部保健所へ迎えに行った時に無表情で臆病なレディの顔を、いまま鮮明に覚えています。

この犬は、飼い主からどんな仕打ちを受けていたのだらうと思わずにはいられませんでした。一時預かり中に、沢山の楽しいことを経験させてあげようと思いついては、公園や実家など様々な場所に連れ出しました。そうしたら意外にも、私の両親からオファーが有り高齢な両親なので譲渡対象にはなりませんでしたがレディちゃんの後見人は娘である私ということで実家に正式譲渡されました。名前も、令和元年に迎えたということでレイちゃんになりました。レイちゃんとはずっと一緒です! 実家に来てくれてありがとう!! これからもずっとよろしく。(志田はる美)



②ジョンくん

ジョン君は、保護された時にマイクロチップが入っていて飼い主が判明していたものの、元の飼い主に飼育放棄されたビーグル犬でした。ご縁あって、山梨県の遠藤様ご夫妻が里親になって下さり、今は何処へ行くのも旦那様と一緒に、ジョンくんが可愛くて仕方がないとのこと。本当のご家族と巡り逢い、幸せに暮らしています。(志田はる美)



③ももちちゃん(預かり名: ふみちゃん)

ふみちゃんは、小柄な柴犬さで、家族に迎えたいという里親希望者も数名いてお見合いもしましたが、保護当時、目瞼内眼、フィラリア陽性、皮膚病があった為、成立にはならず、結局、私が一時預かりをしました。目薬も、嫌がらず注すことが出来たので治療もスムーズに進み、手のかからない優等生ワンコでした。

御殿場の長田様が、以前飼っていた犬の一周忌が終わってまた犬を迎えたいと思っていた頃、函南町役場の譲渡会でふみちゃんとお会い、トライアル後、正式譲渡となって幸せを掴みました。

預かりをして思うことは、保健所に保護された犬達はどんな飼い主であったとしても、必ず迎えに来てくれることを信じて待っているということです。迷子にしたら必ず必死に探してください。飼う以上は、鑑札と予防注射済票の徹底を。そして最期の時まで一緒にいてあげて下さい家族なのだから。(志田はる美)



④ももちゃん(預かり名: マリ)

2019年8月、小山町で保護された若いメス。とても元気でフレンドリー、体格も大きく、とても可愛い女の子でした。左目が陥没していましたがハンディをものともせずエネルギー満ち。仮の名前を「マリ」として、絶対に助ける!と誓いました。

飼い主は現れず、引き出し先も決まらなかったため、様々な声かけを行い、結局、当クラブメンバー中村さんのお知り合いの方にスピード譲渡が決定!行き先は下田。いつもお世話になっている沼津のドッグサロン Bibi さんでシャンプーをしていただき、お盆期間の真只中、正式に譲渡させていただきました。

里親になってくださった勝野様は、ご自身も格闘技をされている強者でいらっしゃるの、パワフルなマリちゃんには嬉しいご縁。新しい名前「ももちゃん」となり、第二の犬生がスタートしました!ももちゃん良かった!勝野様、ありがとうございます! (笠井清美)



⑤豆太郎くん



2019年12月の沼津市役所で他クラブと合同で行った譲渡会で小さな黒柴の子犬と出逢いました。この子犬どうしたの?と聞くと、全盲でペットショップをたらい回しにされた子犬とのこと。生体販売の店としては、買い手がつかない子犬を置いていても仕方ないと思っていたのかもしれませんが、かわいそうな不憫な子犬だ!と同時に、ハンデのある動物には無情なペットショップ業界、この実態が今の世の中なのです。自宅には既に柴犬が2匹いても、そんな子犬を黙って放っておくことなど出来ず里親を名乗り出て志田家のワンコとなった豆太郎。あなた犬生をこれから暖かく見守っていくと私は誓います。(志田はる美)

⑥ハナちゃん

2020年2年1月に小山町にて保護され、富士保健所からレスキューした白いメス。性格もとっても良く甘えん坊な女の子で、私が行くと嬉しくて「嬉ション」してしますお茶目さんでした。こんなにカワイイお利口さんを、飼い主はなぜ棄てたのか?理解に苦しみます。迷子になっても、必ず探してほしい!私達の願いもむなしく、保健所での保護期限は過ぎてしまいました。ダメ元と思いながら知人の富士市の渡瀬さんにお声をかけたところ面会して下さることになり、トントン拍子で譲渡になりました。渡瀬さんご夫婦は何度か私達ボランティアの譲渡会に足を運んでいてくれおり、お人柄は知っていたのですが、若い犬を迎える体力など心配もありましたが、息子さんの了承を得て、ご縁に繋がりました。新しい名前はハナちゃん。ぴったりの可愛い名前です。早速避妊手術の予定も組んでくださり、安心してお任せできます。ハナちゃん、良かったね!渡瀬さん、ありがとうございます! (笠井清美)



⑦函太郎くん

2019年7月 函南丹那で保護された函太郎君。おとなしい函太郎君ですが、犬らしいアクティブさはなく、呼び掛けにも反応の薄いコでした。どうやら耳の聞こえが弱いためだ…とわかったのは後々の話。預かりをして頂いたわんこのパフィーさんが、観察の結果そう教えてくれました。名前を呼んでも上の空。マイペースといえは聞こえは良いのですが、やはり名前を呼んだら来てほしいし、新たな飼い主を探す上では重要なことです。

穏やかな函太郎君は、譲渡会でも人気者でしたがなかなかご縁には至りません。そんな中、年明けの譲渡会でT様ご家族と出逢いました。ご主人、奥様、息子さんとご家族皆様揃って来てくださり、お宅訪問からトライアル…そして家族に迎えてくださることに。

「ゆっくり仲良くなっています」と言われたT様の言葉に、函太郎君への愛情を感じました。

函ちゃん!良かったね(〇〇)もう安心だよ! (笠井清美)

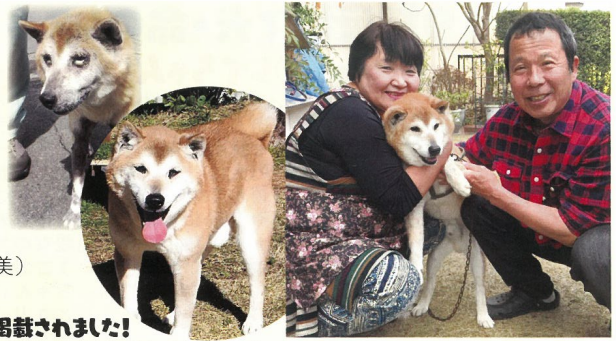


⑧でんでん君 月

2019年8月 富士保健所から引き出し。保護当時はひどい皮膚病で、引き出し後、定期的なシャンプーと投薬治療をおこない、様々な方からのご支援・サポートを受け、見間違えるほどの、美しい柴犬になりました。

1週間のトライアルを経て、3月末に正式譲渡に。

新たな飼い主のご夫婦は、昨年の譲渡会からずっとでんでんを見守ってくださり、室内のリフォームが完了した時点でトライアルを申し出ていただきました。今後とも末長くでんでんをよろしくお願いたします！（笠井清美）



▼でんでんのご紹介は、2019年12月31日付の朝日新聞にも大きく掲載されました！

望月さんが引き取った当初の「デンデン」望月さん提供



望月さんとデンデンが出会ったのは8月。富士市内で保護されたデンデンが富士保健所に収容されていた時のことだ。愛護団体の「しずおかセラピードッグサポートクラブ」がSNSに投稿した柴犬の写真は、お世辞にもかわいいと言えなかった。皮膚の病気で毛がほぼ抜けた足や腹は炎症で赤黒くなっていた。かゆくてかきむしったのか、目の周りの毛もなかった。

デンデン こんなに元気になりました

望月さんが引き取った当初の「デンデン」望月さん提供

望月さんは、免疫力を高めるためシカ肉や野菜を与えた。触れるときは消毒して手袋をはめ、部屋やケージは1日に3度拭き掃除をした。保護団体や友人からの

そんな時、ペットショップで出会ったのが、「ちよこ」だ。左目がブルー、右目がこげ茶のバーニーズマウンテンドッグ。一目惚れして購入した。（堀之内健史）

里親が現れないと、殺処分になる可能性がある。保護所の担当者「病気もあり、引き取ってもらう『譲渡』には向いていない」と振り返る。望月さんの自宅には犬や人から隔離し、治療に専念できる空き部屋があった。体に良い食事を与え、ストレスなく過ごさせれば回復の可能性があると考え、引き受けることにした。

望月さんは、過去に犬に救われた経験がある。社会に出てから、うつ病や統合失調症を発症。生きるのがつらくなり、大量の薬を服用し、自傷行為に及んだこともあった。

「自分も一人で育てられなかった。絶対に安易にペットを飼うのはいけないとも痛感した。寄付などを通じ、より多くの人に犬の保護活動に関与してほしい。そう願っています。」

病気は他の犬にうつる可能性がある。ひどい状態。誰も引き取らないだろうなと思った。

支障を受けながら、デンデンと向き合った。効果はすぐに現れた。初めは寝てばかりいたデンデンは元気に動き回るようになった。やがて毛が生え始め、2カ月後には生えそろう。多少、夜鳴きをするが、見た目には他の柴犬と変わらない甘えん坊で、里親を探せるまでになった。

今でも外で働くのは難しいが、ちよこのために取った資格を生かし動物関係の記事を書く仕事をしている。デンデンを迎え入れたのは自分を救ってくれた犬への恩返しになろうと思った。と、デンデンを見て、「私にもできることがある」と実感できた。飼い主に捨てられ、殺処分されるペットは後を絶たない。病気を向き合い、決して暮らした余裕があるわけではないが、自分にもちよこやデンデンを育てることができたのは家族の支援してくれた人たちがいたからだ。



元氣になったデンデンと望月さん 沼津市足高

ちよこは3年後に悪性腫瘍を患った。2度手術も経験した。望月さんはペットの栄養や介護について勉強し、資格を取って世話をした。懸命に生きようとするちよこに向き合ううち、自らの死にたい気持ちも薄れていった。「ちよこと一緒に暮らすのが、大を通じて、人と人の関わりも増え、睡眠薬もいなくなりました。」

懸命に生きる 犬が教えてくれたから



会員募集!



NPOしずおかセラピードッグサポートクラブは会員の皆さんの会費、募金により運営されています。活動にご賛同される方は是非会員登録をお願いいたします。

年会費
一般 3,000円
賛助 10,000円

お振込み先
沼津信用金庫本店
普通 538294
NPOしずおかセラピードッグサポートクラブ

★セラピードッグ育成募金へのご協力ありがとうございます! (募金箱設置の会社、お店など)

(株) ジャスコム / 阿蘭陀館 / (株) リブテック / ペ・ド・ノンヌ / 沼津観光協会 / わんのはな / パイネ動物病院 / 共生会 NPO SIDAM / ドッグサロン・ビビ / トニーズホノルル / ドッグカフェ ポワポワ / スナック ジョンブル / しゃんぴによん ペットサロン・あっぷりけ / 長田建設工業 (株) / わんこのパフィー / クリーニング のサトウ / 極メンチ / あにばんや オレンジポット / 美容室 ジェメラレー / ドッグサロン・アイビー / ステーキのあさくま / カフェガーデン / 飯田歯科医院 居酒屋 元 THE 衛門他 / (株) 影山鉄工所 / Café day / 沼津信用金庫